

# ヒューズ電源取り出しソケット 取り扱い説明書

TT-22 / (別紙)

## はじめに

- 本製品はDC12V/24V車(マイナスアース車に限る)専用です。※DC24V車でご利用の際は、そのまま24Vで出力されます。
- 本製品をご使用いただく際は、差し替えるヒューズの種類とアンペア数、ヒューズボックスの場所をお車の取り扱い説明書等でご確認ください。
- お車のエアバッグ、コンピューターなどの走行中の安全にかかわる箇所のヒューズとは差し替えないでください。
- 本製品ご使用中に万が一、接続機器の故障やメモリの消去、バッテリーパックの破損等が発生した場合当社では一切その責任は負いかねます。
- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従わない場合や誤ったご使用(取り付け不備や配線間違い等)をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任、保証は負いかねます。

## 1 安全上の注意

**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- 本製品は防水仕様ではありません。車内専用です。エンジンルーム内のヒューズには使用しないでください。
- エアバッグの作動や運転の妨げになる場合は、使用しないでください。
- ヒューズボックスの空きスペース(純正ヒューズが元々挿さってない箇所)には使用しないでください。
- 取り付け作業中に本製品の接続用ギボシを車体の金属部に接触しないようにしてください。ショートし火災、感電、故障の原因になります。
- ソケット部に車用電源プラグ以外は絶対に入れないでください。故障の原因となります。
- 接続機器の電源プラグがソケット部に奥まで確実に挿し込まれているか確認してください。
- 本製品の各端子は、しっかり接続し接触不良の状態で使用しないでください。
- 出力容量5Aを超えての使用はしないでください。製品の破損や発火の原因になります。
- 本製品ではシガーライターを使用できません。
- コードを束ねたまま使用したり、極端に曲げたり、挟んだりしないでください。
- 本製品及び接続機器本体が高温になった場合や発煙、ショートがあった場合には、ただちに使用を中止してください。
- 分解、改造、後加工をしないでください。

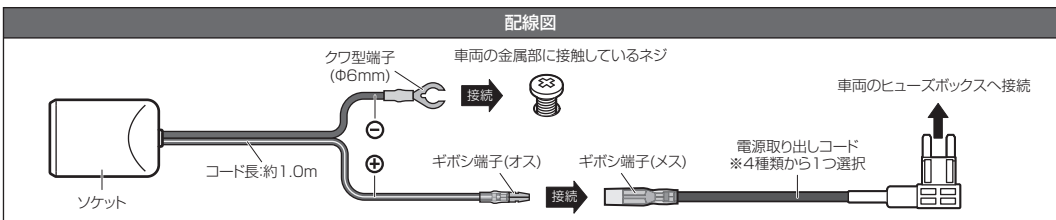
**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- ヒューズが切れた場合は同じ種類、容量のヒューズと交換してください。
- 純正のヒューズを抜くとお車のメモリーがリセットされる場合があります。
- キーがACC/オンの状態で通電し、キーがエンジン/オフの状態でも通電しないヒューズと差し替えてください。キーがエンジン/オフの時に通電すると、バッテリー上がり等の原因になります。

## 2 仕様

定格電圧	お車の差し替えるヒューズ容量	出力容量	接続機器の電源プラグ外径
DC12V / DC24V	10A / 15A / 20Aヒューズ	最大:5Aまで	Φ20.0mm~Φ20.8mm ※接続機器の電源プラグ外径が特殊な形状の場合、 抜け防止機能の効果がなくなる場合があります。

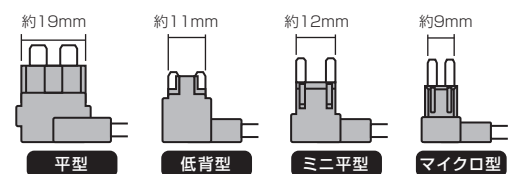
## 3 取り付け方法



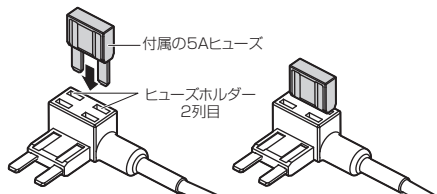
## 電源取り出しコード側の配線方法

キーをエンジン/オフの状態で行ってください

①電源取り出しコードのコネクターの形状は4種類あります。お車のヒューズと種類が同じ電源取り出しコードを選んでください。※以降の使用法の図はミニ平型タイプですが使用法は同じです。

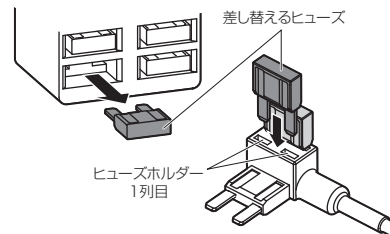


②付属の5Aヒューズ(お車のヒューズと同じ種類のもの)をヒューズホルダーの2列目に挿し込んでください。



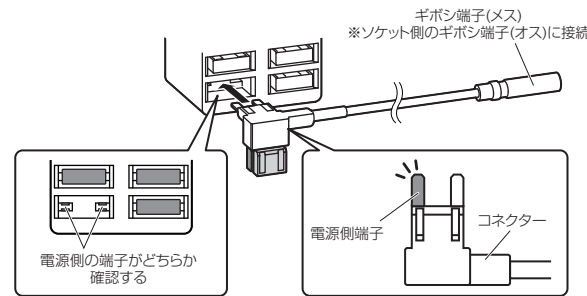
キーをエンジン/オフの状態で行ってください

- ③ヒューズボックスから差し替えるヒューズを抜き取ります。抜き取ったヒューズをヒューズホルダーの1列目に挿し込んでください。
- ※検電テスターを使用して必ずキーがACC/オンの状態で通電し、キーがエンジン/オフの状態でも通電しないヒューズと差し替えてください。
- ※エアバッグやコンピューター等の走行中の安全に関わるヒューズとの差し替えは絶対にしないでください。



キーをACC/オンの状態で行ってください

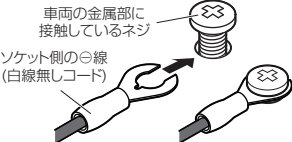
- ④ヒューズが挿してあった端子の電源側を検電テスターで確認してください。ヒューズボックスの電源側端子にコネクターの電源側端子が挿さる向きでコネクターを奥までしっかりと挿し込んでください。
- ※検電テスターがない場合は、②(付属のヒューズだけ挿した)状態でコネクターを接続し、ソケットが通電する向きが正常です。



## ソケット側の配線方法

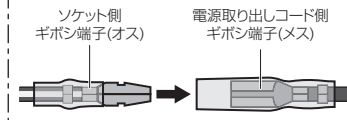
キーをエンジン/オフの状態で行ってください

- ①車両の金属部に接触している固定ネジをお手持ちの工具で緩めて、ソケット側コードの白線(白線無し)先端のクワ型端子を滑り込ませ、共締めしてください。



キーをACC/オンの状態で行ってください

- ②ソケット側コードの⊕線(白線有り)先端のギボシ端子(オス)を電源取り出しコード側のギボシ端子(メス)に接続してください。



キーをACC/オンの状態で行ってください

- ③キーをACC/オンの状態にし、ソケットの通電確認用ブルーLEDが点灯することを確認してください。



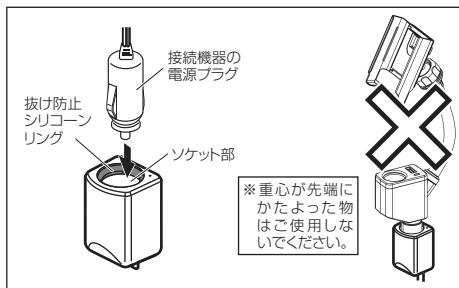
## 貼り付け方法

- ①コード長とコード取り回しを考慮の上、取り付け場所を決めてください。
- ②取り付け場所の光沢材、汚れ、ゴミ、ホコリ等を中性洗剤等を用いてよく拭き取ってください。
- ③ソケット裏面の粘着テープのハクリ紙をはがして、取り付け場所にしっかりと貼り付けてください。
- ※ソケットは粘着テープでの取り付けです。皮革素材、布生地、曲面のきつい場所、極端なシボ(凸凹)面には取り付けできません。また、運転操作に影響のない場所に取り付けてください。取り付け部は跡や変色が起こる可能性があります。
- ※15℃以下の低温時には粘着テープに十分な粘着力が得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。
- また、真夏の炎天下等取り付け場所が高温になっている場合も粘着力が得られない場合があります。
- ※粘着テープの貼り直しは粘着力が低下しますのでお避けください。
- ※粘着テープ貼り付け後は十分な粘着力を得るために24時間放置してください。



## 4 使用方法

- ①はじめにソケット部に接続する機器の消費電力をご確認ください。出力容量を超えた場合、本体の破損や発火の原因になります。
- ②接続機器の電源プラグをソケット部に挿し込んでください。
- ※ソケット部は接続機器の電源プラグを防止する為にシリコンリングを使用しており、プラグが抜けづらい構造になっていますので、接続機器の電源プラグを脱着する際は粘着テープに負荷がかからないように、ソケットをしっかりと押さえて水平に脱着してください。
- ※本製品は電圧変換はできません。DC24V車でご利用の際は、そのまま24Vで出力されます。
- ※本製品には接続機器の電源プラグの抜け防止機能が備わっていますが、走行中の振動により接続機器の電源プラグが接触不良をおこす場合がありますので定期的な挿し込み状態を確認してください。
- ※フレキシブルチューブタイプのホルダーなど重心が先端にかたよった物は使用しないでください。



本製品に関するお問い合わせは...

☎ 0570(039)710

受付時間/AM10:00~PM5:30月曜日~金曜日(祝日休業)  
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1



商品詳細・取り扱い説明書・ご使用方法の動画はこちらからもご覧いただけます。